

令和3年度第2回山口県教科用図書選定審議会議事録

日 時 令和3年5月14日（金）
午後1時30分から午後2時30分まで

場 所 県庁4階 共用第3会議室

欠席者 西川会長、野口委員、別府委員

発言者	内 容
事務局 審議監 副会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和3年度第2回山口県教科用図書選定審議会」を始める。 ・県教育委員会挨拶（大野審議監） ◆副会長挨拶 ・配付資料確認 ・議事録の公表について確認
副会長	◆それではまず「義務教育諸学校における令和4年度使用教科用図書の採択の基準及び選定に必要な資料について（原案）」を項目ごとに審議する。事務局から変更点について説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・修正箇所のみ説明する。修正箇所には下線を付けている。 （修正1箇所の説明。小・中学校別の記載となった旨）
副会長	◆ただいまの説明に質問はあるか。
副会長	◆一つずつ確認していく。
副会長	◆「1 義務教育諸学校の教科用図書（一般図書を除く）の採択について」何か質問はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
副会長	◆では、原案どおりとする。
事務局	・「2 一般図書の採択について」説明
副会長	◆「2 一般図書の採択について」何か意見はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
副会長	◆では、原案どおりとする。
事務局	・「3 教科用図書の採択に当たり特に留意すべき事項について」説明
副会長	◆「3 教科用図書の採択に当たり特に留意すべき事項について」何か意見はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
副会長	◆では、原案どおりとする。

副会長	◆「Ⅰ 義務教育諸学校における令和4年度使用教科用図書の採択の基準について」について、全般的に何か意見はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
副会長 事務局	◆それでは、次に、Ⅱについて確認する。 ・「Ⅱ 採択関係者に提示する令和4年度使用教科用図書の選定に必要な資料について」「1 中学校用教科用図書の採択における選定資料」「2 一般図書（特別支援学校・学級用）の採択における選定資料」について説明
副会長	◆「Ⅱ 採択関係者に提示する令和4年度使用教科用図書の選定に必要な資料について」「1 中学校用教科用図書の採択における選定資料」「2 一般図書（特別支援学校・学級用）の採択における選定資料」について何か意見はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
副会長	◆では、原案どおりとする。 「義務教育諸学校における令和4年度使用教科用図書の採択の基準及び選定に必要な資料について」は、答申に向けて最終的に事務局で作成することとしてよろしいか。
各委員	◆（了承）
副会長	◆次に「令和4年度使用中学校用教科用図書選定資料」「令和4年度使用一般図書（特別支援学校・学級用）選定資料」の審議に入る。選定資料案は、前回検討していただいた観点に基づいて作成されている。選定資料案の作成に至るこれまでの経緯等について事務局に説明をお願いします。
事務局	・（作成経過等について説明）
副会長	◆何か質問はあるか。
各委員	◆（特に意見なし）
副会長 事務局	◆「選定資料」について審議する。 ・（委員に図書を配付）
副会長	◆事務局の合図で時計回りに機械的に図書を回していただく。その後、休憩を取るのので、必要があれば個人的に確認していただきたい。
各委員	◆（研究調査の対象となった図書の確認） （20分間休憩）

副会長	◆再開する。研究調査員で研究調査した内容について事務局から説明をお願いする。
担当者	・中学校社会（歴史的分野）＜1冊について研究調査報告＞
副会長	◆ただいまの説明に質問はあるか。
委員	◆写真や資料が分かりやすく配置されていて分かりやすい印象を受けた。写真やグラフがたくさんあり、どこを見てよいか焦点化するのが苦手な子どもたちもいるが、見やすいと感じた。
委員	◆学びが楽しくなるような感じがした。興味関心が尽きない、そんなつくりになっている。先程の説明にあったが、主体的に学ぼうとさせる工夫があるので、学びを喚起するしくみになっていると感じる。
委員	◆非常に興味関心をひく教科書である。新学習指導要領（思考力・判断力・表現力）にも対応した教科書だと感じている。
委員	◆昨年度作った資料と基準をそろえながら今年度も作成したと思うが、昨年度の資料と似たようなものができていると感じておられるか。
担当者	・基準は変わっていないので同じような内容になっている。
委員	◆表現も似たようなところがあるか。
担当者	・昨年度とほぼ同じ表現である。
副会長	◆説明で、「自国の歴史に誇りをもてるような内容になっている」とあったが、表現からであるか。
担当者	・本文もだが、コラムなどにもそのような記事が多くあると感じている。
副会長	◆日本人が世界や人類に貢献した様子が分かるということか。
担当者	・そうである。
副会長	◆どのような表現からそのように言えるか。
担当者	・東日本大震災の際の日本人の礼儀正しさを扱ったコラムの部分や日本のアニメが世界に誇る文化であるという部分にページを割いて、本文にきちんと掲載されている印象があると感じている。
副会長	◆中学校社会（歴史的分野）は以上とする。事務局で精査の上、答申してよろしいか。
各委員	◆（了承）
副会長	◆「令和4年度使用一般用図書（特別支援学校・学級用）選定資料」について審議する。事務局より説明をお願いします。
担当者	・音楽・製作＜8冊のうちの4冊について研究調査報告＞
副会長	◆ただいまの説明に質問はあるか。
委員	◆確認だが、選定資料の目次とページは同じものであるか。見本と選定資料の

担当者	見本は同じか。選定資料の目次は単価が全部違うのは？ ・確認して訂正する。定価等はそれぞれのページに記載しているものが正しく、目次は記載ミスである。
副会長 委員	◆精査の際、正しい単価等を掲載してほしい。 ◆「ひとりでできるもん」のタイトルと作りがとてもマッチしていて、イラストも手作り感があり、食べたい・作りたいと思わせる。「職業・家庭たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす」は、全てにルビが振ってあって外国籍や障害のある子どもへの対応がなされているし、めあてと振り返りもあって配慮がされていると思う。
委員	◆「職業・家庭たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす」は、ルビが振られていて、文字の間隔が広い。感覚過敏で見え方に特徴がある子どもも多いと思うが、文字が重ならないので見やすいと思う。「トリックアート図鑑 ペーパークラフト」は、抽象的思考が苦手な形のイメージがしにくい子どもたちも、実際の形があり、自分で操作できることで思考を助けることができるし、やってみたいと思わせる教材である。知的障害のある子どもにとっては理想的である。
副会長 担当者	◆6～8に進むが、戻ってご意見をいただくことも可能である。 ・音楽・製作＜残りの4冊について研究調査報告＞
委員	◆「手あそび指あそび歌あそびブック1」は、おもしろアイデアやコラムが大人向け・指導者向けの記載という印象を受けたので、子どもが読むのに適しているのかと感じた。選定資料に、このようなネガティブな部分も記載されてあってもよいのではと感じた。
委員	◆「手あそび指あそび歌あそびブック1」は、交流の中で英語を学ぶのが難しい子どももいるので、帰りの会などで学べると思った。「歌のミュージックランド（5訂版）楽しい歌とコーラス」は、何年生を想定して作られているのか。小学生には難しい。これを選んだ理由について聞きたい。
担当者	・持ち運びやすいという利点があるが、活用は中学生が中心になるかと思っている。県内の採択がどの学年で行われているのか手元に資料がないので分からないが、対象年齢は高いと思われる。
委員	◆音楽を担当しているが、中学部1年で買って3年間使えるようにしている。単一の知的障害学級で活用している。欲を言えば、新しい曲が入っていると子どもも喜んで歌うのではないかと思う。
委員	◆障害のある子どもの発達の段階や障害の幅が広いので、それに対応して様々なものが用意されていると感じる。教師と身振り手振りをしながら学べるものもあって幅広い。CD付きのものは、よく知っているものだと思うので、英語を学びやすい。多様なニーズに応えるように選定されていて、障害の状

	<p>態に応じて選べる。「歌のミュージックランド（5訂版）楽しい歌とコーラス」は、意見が分かれるところだと思うが、覚えていてほしい・ロズさんでほしいものが選定されているので、卒業しても気持ちに合わせて使えるし、バラエティーに富んでいてよい。</p>
副会長 担当者	<p>◆先に進めさせていただく。次に、言語・生活・安全の説明をお願いする。 ・言語・生活・安全<8冊のうちの4冊について研究調査報告></p>
副会長	<p>◆ただいまの説明に質問はあるか。</p>
委員	<p>◆「あかちゃんのための絵本 はみがきしゅわしゅわ」は、「さぼるとひどいめにあう」という表現ではなく、「きちんと磨くと気持ちいいよ」という教え方で、保護者の家庭教育にも役立ち、よいと思う。</p>
委員	<p>◆「子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん」は、おはしをもつイラストなどの基本の大事なことがイラストで描いてあって、読みながら楽しく学べてよい。</p>
委員	<p>◆「子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん」は、洗濯物のたたみ方や上靴の洗い方もあり、長く使えるのではないか。「金曜日に上靴を持ち帰り、自分で洗い、月曜日に履く」ということも可能になるのではないか。独立したお店（金物屋さん）もあって、「こんなお店もあるんだ」と知る機会にもなると思った。</p>
委員	<p>◆4冊とも生活や日常生活、独り立ちにも使えそうでよい。年をとるほど公衆衛生は大切になるので、教育的になり過ぎずに学べるのはよい。</p>
副会長 担当者	<p>◆次の説明をお願いする。 ・言語・生活・安全<残りの4冊について研究調査報告></p>
副会長	<p>◆ただいまの説明に質問はあるか。</p>
委員	<p>◆「CD付き英語カードあいさつと話しことば編」は、アルファベット・書くことを苦手とする子ども、書くことから学習に入ると思考につながらない子どもが、カードから入るとイラストと英文を同時にイメージしながら学習を進められる。「中級編ジャンプアップ こくごⅡ」は、一つひとつをきちんと学習できてよい。</p>
委員	<p>◆絵本は、シンプルで何度も同じことの繰り返して、楽しいものは子どもが側に置いて読むので、よい。「かばくん・くらのえほん2 かばくんのおかいもの」も、チューリップがあってバラがあってと、いくつも子どもが楽しめる題材を選んでいて素敵である。</p>
委員	<p>◆4冊とも日常生活に密着した教材で、子どもにもよい。しかし、よいものだけに初版が古いものが多いので、時代に即した新しいものを見つけていくことも必要ではないか。</p>

委員	◆イラストが親しみやすいし、生活に身近でよい。生活の中の安全を学べる。歯科検診前に学習すると、歯医者への苦手意識が減って、歯科検診がスムーズに行えるのではないかと。
副会長	◆次に進めさせていただく。
担当者	・自然・数<8冊のうちの4冊について研究調査報告>
副会長	◆ただいまの説明に質問はあるか。
委員	◆今の時代の流れからすると、時間はデジタル化されて長針短針で読まなくなっている。その辺の、子どもになじみのない指導をどうやって行うのか。数学のお買い物の学習で、子どもの思考では二つ合わせて1000円から引くこともあるし、一つずつ買うこともあるし、いろいろな考え方があると思う。「どの考え方が自分に合っているかな」という表現ならよいが、「この考え、この考え」となっている。また、割り算の中にも電卓を使っている問題があったが、 $100 \div 3$ の答えを検算するとき、「33あまり1」が電卓では「33.333・・・」となり、「33あまり1」「わる数×答え+あまり=わられる数」と学校で教えているが、電卓ではピタッと数字が合わないのでは、その辺はどうなのかと思う。
担当者	・電卓の使い方に関しては、「数学」として取り扱っていて、算数ではないのかなと思う。特に知的障害のある人が、生活で困らないことが大切だということもあるのではないかと。実際の指導場面では、あまりのある割り算であることを頭に置いて指導することも必要であると思う。時計の読み方で子どもが困るのは、まずアナログなので、アナログの時計を指導して、その後デジタルの時計を指導するのもよいかと思う。
委員	◆時間の流れと自分の生活が合うことが大切。アナログ時計が読めなくてもよいのではないかと。みんなにアナログの時計を教えなくてもよいのではないかと。
担当者	・プレゼンの中では触れなかったが、カレンダーの中で「何時に集合」などの生活上のことも出てくるので、しっかりと汎用はできているのではないかと。
委員	◆求めていることと調査されていることがよく合っている。
副会長	◆先を急ぐ。次の説明をお願いします。
担当者	・自然・数<残りの4冊について研究調査報告>
副会長	◆最後の説明をしていただいたが、ただいまの説明に質問はあるか。
委員	◆特別支援学級の子どもたちには大切。今の子どもたちに合ったものであることが大切なので、バージョンアップが必要ではないかと。
委員	◆「単行本 さわってあそぼうふわふわあひる」は、視覚障害の子どもが触って楽しめる絵本なので、優れている。

委員	◆全体的な感想になるかもしれないが、支援学校の子どもが社会に出て困らないように、必要なことが順を追って書かれている。どの本もそれがよく分かり、熟慮されてよく選定されている。ただ、より今の子どもたちに分かりやすい記述のものを探していただけがあればありがたい。「こうしたら分かるのではないか」と子どもたちのことを考えて選ばれているのはありがたい。
委員	◆ニュースで、「スーパーで売っている魚の切り身がそのまま泳いでいると思っっている子どもがいる」という記事を読んだことを思い出した。このような子どもにとっては必要な学習である。デジタルの話と重なるかもしれないが、昔活動時間を守れなかった子どもを叱ったことがあったが、校庭にはアナログの時計しかなく、その時計が読めない子どもだった。今の時代でもアナログ時計が読めた方がよい場面もまだある。
副会長	◆最後に、「これだけは」ということがあればお願いしたい。
委員	◆（特に意見なし）
副会長	◆それでは、「一般図書（特別支援学校・学級用）選定資料」について、事務局で修正を加えて答申となるがよいか。
委員	◆（了承）
副会長	◆長時間にわたり審議をしてきたが、事務局には委員の意見を踏まえて訂正・追加をして答申してもらいたいがそれでよろしいか。
委員	◆（了承）
副会長	◆答申の運びについて、事務局から説明をしてほしい。
事務局	・答申の日程等の説明 ・意見を踏まえたものを浄書し会長に確認した上で答申。
副会長	◆以上で審議内容は終了であるが、委員さんから採択や本委員会についてご意見やご感想があればうかがいたい。
委員	◆活発な意見が出され、丁寧かつじっくりと審議が行われた。教科用図書が子どもたちの日々の学びに生かされることを願っている。
副会長	◆本来ならば、全員の方のご意見を求めたいが、これで終了する。委員の皆様からいただいた貴重な意見は、事務局でまとめてほしい。委員の皆様には、審議へのご協力に感謝申し上げます。
課長	・県教育委員会挨拶（中村義務教育課長）